



校長の目 ～西小日々通信～

令和4年9月27日（火）



児童集会は、保健委員会の発表でした。今日は映像配信はなく、放送での発表です。保健委員会の児童全員が発表に携わりました。保健室の利用の仕方や熱中症予防関すること、ストレス軽減に関することなど、クイズを交えながらの楽しくためになる発表内容でした。健康Zの登場予告もありました。近日中に1年生の手洗いのお手伝いに登場するようです。楽しみですね。保健委員会は、9月30日（金）の学校保健安全委員会で学校医さんや保護者の皆様の前での発表もあります。みんな今から緊張しています。よい緊張は、自分を高めることができます。がんばろう！



1年生は、国語の授業で「かず と かんじ」の学習をしていました。1学期の日々通信で、1年生算数科における数の学習について触れましたが、和語としての数詞は国語で学習します。ここでは、漢数字とその読み方について、「一、いち、ひとつ」を並べ、同じ意味を表していることを確認し、和語の数詞を使った文例を学びます。「ひとつ、ふたつ、みつ…」の「つ」は、個の意味をもつ数助詞なので、「つ」をのぞいた数詞は、「ひ、ふ、み、よ、いつ、む、なな、や、この、とお」となります。ですが、小学校では「つ」をつけたまま学びます。日常生活では、数助詞を付けたまま使うことが多いからです。ちなみに、魚釣りで10匹釣れたことを「つ抜け」と言います。「とお」には「つ」が付かないことが由来です。



2年生は、生活科でおもちゃ作りに取り組んでいました。みんな、「1年生にあげるおもちゃを作っているんだ！」と意気揚々です。紙コップや輪ゴムなど、身の回りの材料を使って楽しそうに作っていました。興味深いのは、タブレットでおもちゃ作りの動画を参考にしながら作っていることです。私が子供のころは、近所のお兄ちゃんがおもちゃ作りを教えてくれたものでした。そして、数年後は自分が下の子たちに教えていました。そうやって子供文化が継承されていましたが、時代も変わりました。しかし、情報の伝達方法は変化しても、自分の手を動かしてものを作る喜びは変わりません。子供たちは出来上がると、うれしそうに見せてくれます。そして、ちゃんと遊べるかどうか試しています。きっと1年生が喜んでくれる姿を想像しているでしょう。



5時間目のおひさま学級は図工でした。今日は、紙コップロケットを作って飛ばすことが学習のめあてです。紙コップに飾りをつけてロケットを作りますが、難しいのは飛ばすために輪ゴムを取り付けることです。紙コップに切れ目を入れてから、輪ゴムを交差するように掛けます。どうしてもできないときは、座ったまま拳手して先生を呼びます。これが大切なルールです。出来上がって、ロケットが飛ぶととても嬉しそうでした。

